



島根県立三刀屋高等学校

校長発 『本流』

【9月号②】令和6年9月3日



■ スローガンに思いを込めて―「三高祭（体育祭）」開会式にて―

皆さんおはようございます。いよいよ「三高祭」最終日、体育祭となりました。台風10号の影響により先週から延期となりましたが、雨の影響もなく良いコンディションで開催できることを嬉しく思います。ご来場いただいた保護者・地域の皆様いつも本校教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年は開校100周年という記念すべき年です。今から101年前の1924年4月17日に入学式、翌年の1925年4月16日には開校記念式典が開催されています。そして、その日の午後1時半から前年に完成した運動場で「開校記念運動会」が開催され「一般観覧者は千人を超え、当地方における空前の盛況を呈した」と記録されています。その日から数えれば今日の体育祭はちょうど100回目といえます。

昨日までの文化祭2日間では皆さんからたくさんの元気をもらいました。皆さんが懸命に取り組む姿は、地域全体に大きな活力を与えてくれています。ありがとう。皆さんは、今日の日のために、おそらくいろいろな失敗をし、ぶつかり合いもして、みんなで一つのものをつくりあげることの難しさを感じたと思います。文化祭・体育祭は学校全体で取り組み、つくりあげる一大イベントです。昨日までの2日間で、疲れている人もいるかも知れません。私もクラス展示を3周し、的あてやダーツの投げ過ぎで腕や肩に若干張りを感じています。（ここ少し笑うところでした。）どうか無理せずに早めに休憩をとるなどしてください。

各色とも優勝に向け**虎視眈眈**と狙いを定め、**紫電清霜**、一人一人が輝きを放ち、みんなが笑顔で美しく戦い**勝破笑美戦**（かっぱえびせん）のようにだれも止められない力強さで、他を圧倒して衝撃を残す**フルインパルス**のような活躍を期待しています。

怪我、熱中症等に十分気を付け、一致団結して各色の団結力の素晴らしさを思う存分発揮してください。3年生の皆さんは最後の体育祭です。青春の1ページを飾るすばらしい体育祭になること願って、開会の挨拶とします。

